

# KELES Newsletter

## 関西英語教育学会報 2016年度 第3号

事務局：〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲1-2-1

神戸大学 大学教育推進機構 国際コミュニケーションセンター 大和知史研究室内

Phone: 078-803-7684 E-mail: kelesoffice@gmail.com

学会ウェブサイト: <http://www.keles.jp/> 2017年03月28日発行



### 報告 関西英語教育学会 第20回 卒論・修論研究発表セミナー

開催日:2017年2月12日(日) 会場: 関西国際大学 尼崎キャンパス

第20回卒論・修論研究発表セミナーが、大学英語教育学会関西支部と外国語教育メディア学会関西支部の共催にて、2017年2月12日(日)に関西国際大学尼崎キャンパスにおいて開催されました。

第20回の節目を迎えた今年は、大変良い天候に恵まれ、朝早くから多くの方にご来場いただき、午前の発表から活発な議論が展開されていました。当日行われた研究発表は合計29件(口頭発表21件・ポスター・デモ発表8件)。2回目のポスター・デモ発表では、通常のポスター発表スタイルに加え、開発したアプリを提示したり、ラウンドテーブル形式で実施するなどさまざまな発表形式が見られ、それぞれに活発な議論が行われていました。

午後の発表の後には、昨年度の研究大会でも実施したアフタヌーン・ティーを実施し、発表者、参会者、コーディネーター、講師の皆さまが軽食と飲み物を片手に、和やかに交流する時間を持つことができました。

また、スペシャル・トークとして、神戸大学の横川博一先生をお招きし「外国語運用能力はいかに熟達化するかー言語情報処理の自動化プロセスを探る」というタイトルで講演をしていただきました(概要については下記参

照)。

多数のコメンテーターの先生方にもご協力いただき、今年も約110名の参加者が集まる盛会となりました。この卒論・修論研究発表セミナーも20回を数え、この機会を一つの目標として捉える学生の皆さんがいること、これを目指してがんばろうとご指導下さる先生方がいることに、実行委員として大きな喜びを感じるとともに、この会がしっかりと根づいてきているのだと実感することができました。

なお、卒業論文・修士論文の研究発表の発表者とタイトルの一覧は、関西英語教育学会ウェブサイトにてご確認ください([http://www.keles.jp/program/keles\\_gmt20\\_program/](http://www.keles.jp/program/keles_gmt20_program/))。

以下、スペシャル・トークの報告と発表者の体験記を掲載します。

#### <スペシャル・トーク>

#### 「外国語運用能力はいかに熟達化するか

#### ー言語情報処理の自動化プロセスを探る」

神戸大学 横川 博一 先生

今回は、記念すべき20回目を迎えたこのセミナーを中心となって立ち上げ、現在も英語教育の第一線でご活躍されている横川博一先生に、先生自身がこれまで歩んでこられた研究

の道のりを振り返っていただきながら、ご専門である心理言語学的研究の最近の成果や、それに基づいた大学での授業実践についてお話いただきました。

先生が研究の世界へと足を踏み入れた当時は、英語教育への心理言語学的アプローチが徐々に盛んになっていった時期であり、多くの先生方との出会いを通して、ご自身の研究の道を確立されていったことをまずお話いただきました。次に、授業実践において、多くの試行錯誤から、「学生にとって何ができれば嬉しいか？」という問いかけのもとで生まれた、社会で求められるアカデミックな英語力を育成する授業について、段階ごとに活動の内容と狙っている効果を分かりやすくご紹介いただきました。その後、授業実践を改善し、外国語運用能力を育成していくためには、人が言語を理解・産出する認知メカニズムや、外国語運用能力の熟達化プロセスの解明が重要であることを、先生の心理言語学的・脳神経科学研究の成果からお示しいただき、また、今後の研究の展望についてお話いただきました。

先生がご講演の中で最も強調されたことは、人との出会いの大切さでした。先生自身がたくさんの出会いの中で、自らの道を切り開いていった姿は、これからの日本の英語教育を担っていく学生の皆さんにとって、強く心に響くメッセージとなったことと思います。また、ご講演の最後には、セミナーを一緒に立ち上げ、現在は広島の高校で教員をされている加納隆広先生からもメッセージをいただき、関西の英語教育のさらなる発展に向けて、一人一人が多くのエールをいただいたスペシャル・トークとなりました。

(報告者: 兵庫教育大学 鳴海 智之)

### <発表者体験記>

#### 【卒論・ポスター・デモ発表】

富 祐磨 さん (関西国際大学)

2年前からKELESのセミナーに、スタッフと

してお手伝いをさせて頂き、今年は発表者として参加させて頂きました。今年も関西国際大学を会場として選んで頂き、KELESの発表の場となったことを感謝しています。

発表後に多くの方々からアドバイスや貴重なご意見を頂き、私自身得るものがとても多く勉強になりました。発表して感じたことは、発表をすることによって自分自身がしっかりと研究内容の把握ができていくのかを確認することができ、また、発表者側からの視点では気づくことができなかつた問題点や改善点に気づかせて頂けるということです。多くの参加者から頂いたアドバイスは、今後の研究に役立てたいと思います。

最後に、学部生や院生の方には、ぜひ本セミナーで発表されることを強くおすすめします。なぜなら、さまざまな分野で研究をされている先生方のご意見を伺うことができ、学ぶことが多いからです。これからも多くの方々との情報共有できる機会を作ってもらえると嬉しい限りです。

#### 【修論・ポスター・デモ発表】

大西 潮音 さん (兵庫教育大学大学院)

私は常に、「自分の研究が少しでも英語教育を動かすきっかけになれば」と思いながら研究を続けてまいりました。しかしそのためには、修士論文を完成させるだけではなく、自分の研究に興味を持っていただかなくてはなりません。今回私が参加した「ポスター・デモ発表」は、英語教育への情熱をもった多くの学生が一堂に会し、それぞれが思い思いに発表し議論する貴重な場であり、自分の研究を知って頂くこれ以上ないチャンスでした。

発表の当日、発表者の方々がポスターを使いながら議論を行っている中で私は、会場に長机を3つとそのまわりに椅子を並べ、机の上に実験の資料と自分のノートパソコンを配置、パソコンに映したパワーポイントをお見せしながら発表させて頂くという形を取りました。ポスターは使用しませんでした。自

分の思い通りに発表できたことで自分の研究の意義を確かに伝えることができたと自負しております。それも一重に、「それぞれが思い思いに発表し議論する」中で、自分の研究に興味を持っていただけるチャンスを頂くことができたからに他なりません。この場を借りて感謝申し上げます。

#### 【修論・研究発表】

伊藤 仁美さん（神戸市外国語大学大学院）

私にとって卒論・修論研究発表セミナーは、出会いと学びの連続でした。学部生・院生の方々、現職の先生方、そして研究者の方々に研究発表を聞いていただけるのは、とても幸せなことでした。

研究を進めるにあたり、これまで多くの意思決定をしてきたのですが、その選択がデータの信頼性を欠くことになっていないか、実は内心とてもドキドキしながら発表に臨んでいました。貴重なコメントをいただき、これまでやってきたことが的外れではないということが分かり安堵しました。発表後にかけてくださった温かい言葉、励ましの言葉が忘れられません。私は現在、中・高等学校で英語を教えているので、本研究のデータをどのように生徒たちに還元することができるかを、今後実践を通してさらに考えていきます。

最後になりますが、ご多忙の中、セミナーの運営にご尽力くださいました皆様に心からの感謝を申し上げます。素敵な出会いと学びの場をありがとうございました。

#### 【修論・研究発表】

加藤 充さん（立教大学大学院）

2年を費やして書き上げた修士論文の成果を発表したい、また同年代の院生や学部生と一緒に参加することでよい刺激になると思い、本セミナーへの参加を決意しました。

口頭発表をするのは今回が初めての機会です。予稿集や発表の準備をするだけでも貴重な体験になりました。セミナー当日も発表後、聞

きにお越しくくださった方々から多くの示唆に富んだコメントをいただき、自分自身の発表方法や今後の研究の方針について振り返ることができました。この場をお借りし、感謝申し上げます。また他の発表者とも話し合うことができ、学外での交流の輪を広げるよい機会になりました。参加者が同年代というのも、本セミナーへの参加の大きな利点ではないでしょうか。

関東からの参加は私1人だけでしたが温かく迎え入れていただき、とても有意義な時間を過ごせたと感じています。私自身これからも英語教育に携わりながら、研究に邁進していきたいと思っています。

#### 【卒論・研究発表】

中尾真奈子さん（京都教育大学）

KELESのセミナーで私は人前で初めて自分の卒業論文を発表させていただきました。研究内容を原稿やパワーポイントにまとめるのは難しく、うまく自分の伝えたい事が聞いてくださる方に伝わるのか不安でしたが、発表当日は多くの参加者の方々から意見やアドバイスを頂くことができ、多くのことを学びました。様々な視点からのご助言により、新たな気づきや改善点を発見することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

また、他の方の発表を聞くことで自分の興味のある分野だけでなく、他の分野の知識や考え方を学ぶことができました。初めての発表で上手く伝えきれなかった箇所もありますが、自分なりに試行錯誤し、発表を終えることができ、とても貴重な経験をさせていただき感謝致しております。今回のセミナーで学んだことを今後の教育実践の場で役立てていきたいと思っています。また、このような学会に参加させていただき、これからも多くのことを学んでいきたいと思っています。

## 学会事務局からのお知らせ

### ◆『KELESジャーナル』第2号のお知らせ

今回、昨年度創刊しました『KELESジャーナル』の第2号を同封しております。

今号は、前号同様スペシャル・トークやKELESセミナーの誌上講演をご寄稿いただいたことに加え、特集記事として実践をつぶさに捉えたものを取り上げました。

このような取組みを取り上げる場として、また、新たな議論につながる場として、本ジャーナルが位置づけばと祈っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### ◆学会費納入のお願い

新年度を迎えるにあたり、2017年度学会費納入をお願いいたします。詳しくは、同封のお知らせをご覧ください。

2016年度分の学会費が未納の方は納入をお願い致します。2016年度分が2月末までにお支払いいただいていない場合には、8月に開催の第43回全国英語教育学会島根大会での発表ができませんので、ご了承下さいませ。

### ◆2017（平成29）年度関西英語教育学会（第22回）研究大会のお知らせ

標記研究大会が、以下の通り開催されます。今回は、外国語教育メディア学会関西支部（LET関西）との共催となっております。両学会の特色を活かしたプログラムとなっておりますので、多数のご参加、お待ちしております。

日時： 2017年6月10日（土）・11日（日）

会場： 近畿大学・東大阪キャンパス

参加費： 会員 無料

非会員一般 2,000円・学生 1,000円

内容（仮）：

1日目：

- KELES・LET関西企画ワークショップ
- 研究発表・Teaching Tips（LET関西企画）
- KELES・LET関西共同企画シンポジウム

2日目：

- 公募フォーラム・ワークショップ（KELES）
- KELES企画ワークショップ
- 研究発表・ポスター・デモ発表（KELES）
- シンポジウム・講演

研究発表、ポスター・デモ発表、公募ワークショップ、公募フォーラムを募集中です。発表申込締切は4月21日（金）です。詳細は、別紙発表募集チラシ、KELESウェブサイトをご覧ください。

### ◆第43回全国英語教育学会島根研究大会のお知らせ

標記大会が、以下の通り開催されます。詳細は大会HPをご覧ください。

日時： 2017年8月19日（土）・20日（日）

会場： 島根大学

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060

大会HP <http://jasele2017.jpn.org/>

### ◆各種お問い合わせフォームについて <http://www.keles.jp/>

お問い合わせには、学会ウェブサイトの各種お問い合わせフォームをご利用下さい。

▶入会をご希望の方

▶研究大会

研究大会の発表応募、企業展示の申込みなど

▶各種セミナー

セミナーへの参加登録，発表申込み，企業展示の申込みなど

▶学会誌『英語教育研究』

学会誌への論文投稿など

▶お問い合わせ

学会費，学会誌，研究大会，各種セミナー，入・退会，会員情報の変更，その他学会全般に関するお問い合わせ

◆編集後記

2016年度最後のニュースレターをお届け致します。今回も，ニュースレターだけでなく，『KELESジャーナル』の第2号，紀要『SELT』を同封しております。『KELESジャーナル』の方は，レギュラーの誌上講演・誌上セミナーに加え，特集記事が掲載されています。紀要の方は，今回は掲載論文が少なかったですが，それだけ厳選された論文集となりました。今後とも両者をよろしく願いたします。

第20回を迎えた卒論修論研究発表セミナーは，今回も多くを発表者を迎え，盛況のうちに閉会しました。その体験記から，卒修論セミナーの定着ぶりがうかがえます。セミナー立ち上げからご尽力下さった横川先生のスペシャル・トークからも，このセミナー，あるいは本学会への思いを改めて知ることができました。今後もこのセミナーが研究者・実践者の一つの登竜門として位置づけばいいと願っています。

新年度を迎えるにあたり，6月の研究大会も目前となりました。こちらはLET関西支部との共催で開催することとなりました。いろいろな議論もありましたし，運営上，実務上，いろいろな課題はありますが，「両学会の会員の皆さまが，気軽に両方の学会に参加できる機会であること」を目標に，KELESの会員の皆さまが，これまで同様，土日開催で両日に気軽に参加いただければと思います。多くの皆さまのご参加，お待ちしております。(Y)

